

安平町の  
 「自然」「地域」「文化」「人」に触れ、支え、  
 支えられる中で、  
 学校を通して  
 「スポーツ」「テクノロジー」や  
 「異年齢、多世代」の人達、  
 たくさんの「本物」と出会い、  
 さらに  
 「色々な考え」「多様な価値観」「多くの学び」  
 「夢」とも出会い、  
 “世界”に生き、  
 “世界”へと羽ばたいていく



## 復興のシンボルとして

早来中学校の生徒たちは、今も  
 なお、早来小学校から体育館を借  
 りています。グラウンドも借りて  
 います。様々な制約の中で、先生  
 たちとの創意工夫と早来小学校  
 の先生や児童たちの協力で授業を  
 行っています。

そんな児童・生徒や先生方の姿  
 を見ている地域の方々からは、  
 「単なる復旧にしたいくない」「こ  
 れからの社会変化を見据えた新し  
 い学校にしよう」といった前向き  
 な意見を頂戴しました。

ピンチをチャンスへ。元に戻す  
 だけでなく、前よりもっといい  
 学校をつくることで、安平町の  
 『復興のシンボル』として進めて  
 いくということになりました。

## 仮設校舎で学校生活を 送った生徒の皆さんへ

地震後、町民センターでの授業  
 を経験した生徒の皆さん、仮設校  
 舎での中学校生活3年間を終える  
 生徒の皆さん、途中から新しい校

舎へ移る皆さん。皆さんは、これ  
 まで早来中学校を卒業した先輩方  
 とは異なる経験をしました。辛  
 く、大変な思いをしたこともあっ  
 たでしょう。しかし、困難な状況  
 でもなお前を向き、頑張っている  
 皆さんの姿は、私たち大人に多く  
 の希望と勇気、元気を与えてくれ  
 ました。本当にありがとうございます。

そんな先輩たちの姿を見てきた  
 皆さんの後輩は、これから素晴ら  
 しい学校をつくっていったくれる  
 ことでしょう。どうか皆さんも、  
 これからは地域の一員として、新  
 しい学校を利用してください。そ  
 して、後輩たちを支えていってく  
 れたらうれしいです。これからも  
 よろしく願います。

## 連載をスタート

早来地区に建つ新しい学校、義  
 務教育学校について、マチの皆様  
 にお伝えしたいことがたくさんあ  
 ります。そこで、9月号以降も連  
 載することで、皆様にもっと新し

い学校について知っていたくださ  
 いと考えています。今後は、次の  
 ようなことをお知らせしていく予  
 定です。若干の変更がある可能性  
 もありますので、予めご理解くだ  
 さい。

- ・ 義務教育学校とその機能
- ・ 工事や開校の時期など
- ・ 建設地や校舎の配置など
- ・ なぜ義務教育学校とするのかなど
- ・ スケジュール
- ・ 建設にかかる費用など

## これから決めること

次のことがらについては、地域  
 の皆様や学校の先生など関係者の  
 方のご意見をふまえながら、今後  
 決定していきます。決まりました  
 ら随時お知らせします。

- ・ 学校の名前
  - ・ 制服
  - ・ 校則
  - ・ 校歌
  - ・ 校章
  - ・ 行事
- など